

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 伊勢原こぼと保育所

発効：平成 18 年 3 月 31 日（平成 21 年 3 月 30 日まで有効）



社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
福祉サービス第三者評価機関かながわ

福祉サービス第三者評価機関かながわ 評価結果

1 事業所基本事項

フリガナ	イセハラコボトホイクソ
事業所名 (正式名称を記載)	伊勢原こぼと保育所
事業所住所 最寄駅	〒259-1144 伊勢原市池端502 小田急線 伊勢原駅下車 徒歩12分
事業所電話番号	0463-93-4414
事業所FAX番号	0463-93-4414
事業所代表者名	役職名 施設長 氏名 小倉 生 恵
法人名及び 法人代表者名	法 人 名 特定非営利活動法人伊勢原こぼと会 法人代表者氏名 理事長 加 藤 利 秋
URL	http://www.ans.co.jp/n/iseharakobato
e-mail	kobato@agate.plala.or.jp
問合せ対応時間	9:00~18:00

事業所の概要 1

開設年月日	平成15年 4月 1日
定員数	40名
都市計画法上の用途地域	第一種低層住居専用地域
建物構造	軽量鉄骨 造り 一部2階建て
面積	敷地面積(1,666.26)m ² 延床面積(187.63)m ²

事業所の概要 2 (職員の概要)

総職員数	13名
うち、次の職種に該当する職員数	施設長(1名) 保育士(9名) 保健師・看護師(0名) 栄養士(0名) その他(事務員等 3名)

事業所の概要 3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後8週~小学校就学未満	
延長保育の実施	有	備考:
休日保育の実施	無	備考:
一時保育の実施	無	備考:
障害児保育の実施	無	備考:
病後児保育の実施	無	備考:

保育の方針

働く婦人の権利を守り、産休明け保育、長時間保育を実施することにより、父母が安心して働ける保育施設をめざす。保育のモットー「太陽と土と人間とのふれあいの中で」
--

福祉サービス第三者評価機関かながわ 第三者評価結果

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

優れている点：

保護者アンケートでは、園のよい点として、保育士の対応について「相談に丁寧にのってくれる」「いつでも相談に対応してくれる」など、保護者の不安や心配ごとに親身に対応している姿勢が支持されている。「保育士の熱意が伝わってくる」「子どもを中心に考えてくれている」などの保育士の取り組み姿勢についても保護者が好ましく受け止めている。また、「子どもがのびのびしている」「身体を動かして遊ばせてくれる」など、自然を活かし、外遊びや泥遊びなどを取り入れて保育を行っている点などが具体的に挙げられている。

全体的にこじんまりとしていてアットホームな雰囲気である。少人数制のクラス分けとしている。

NPO法人(特定非営利活動法人)として地域密着型の保育所としての姿勢をとっている。

独自に工夫している点：

年長と年中の子どもと一緒に当番活動をするなど異年齢児のかかわりをもっているほか、母の日、父の日、七夕、夏祭りなどの行事を通じて人と関わることの楽しさを味わえるようにしている。また挨拶をすることが心地よく感じられるよう、日頃から散歩で地域の人と出会ったら、保育士が率先して挨拶するように取り組んでいる。

リズム・歌・ゲーム等を皆で行い、友達の表現を見たり、自分の姿をみてもらう機会をつくっている。子どもが自由に使えるよう、クレヨン、マジック、画用紙などを子ども自身がいつでも取り出せるようにしているほか、夏祭りのおみこしづくり、鯉のぼりづくり、お店やごっこの製作など皆で話し合っ作り上げている。

自然にふれる戸外遊びや泥んこ遊びなどを取り入れたり、自然に恵まれた環境や少人数制を活かして、お絵かき散歩やわらべ唄の会など一人ひとりの子どもにとって楽しい保育内容となるようにしている。また同年齢、異年齢のグループづくりをし、仲間意識や優しい気持ちをもてるようにしている。

市の作成した献立をもとにしつつ、園独自で午前のおやつは果物に、午後のおやつは手作りの軽食にして提供している。旬の野菜や無農薬の七分つき米、黒米などの食材を使い、薄味を心がけている。クラス合同やクラスごとでのクッキングを行い、園の畑で栽培した野菜を調理して食べたりして、子どもの食への興味や関心を引き出すよう努めている。

地域の子育て家庭を対象に、育児相談を随時行っているほか、「親子で一緒に遊ぼう会」や「敬老お月見会」に地域の子どもを招待して、園の子ども達と一緒に遊んだり、園の給食を体験できるようにしている。園庭を開放して、地域の子どもがいつでも遊びに来られるようにしている。

評価領域ごとの特記事項

1	人権への配慮	<p>園児や保護者に対する適切な言葉遣いや態度については、職員会議等で取り上げ、特に家庭環境、身体・精神の成長の差異等を理解して接するようにしている。職員個々のふりかえりや職員会議等での全体のふりかえりを行っている。</p> <p>神奈川県個人情報保護条例に基づく「個人情報取扱業務登録」をしている。「個人情報保護規程」「個人情報に関する方針」「こぼと会職員倫理規程」に沿って、職員会議や施設内研修等で職員の意識の共有化をはかっている。</p>
2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<p>家庭との連絡・情報交換は、「家庭からの意見・要望取り扱い要領」を定め、連絡帳、園だより、クラス便りなどで日常的なやりとりを密にしている。</p> <p>家庭の意向や希望については、園だより、クラス便り、連絡帳のほか、クラス懇談会(年2回)、随時の個別面談のほか、保護者会(年2回)にも出席して、把握に努めている。</p>
3	サービスマネジメントシステムの確立	<p>保育室の温度、湿度、換気に注意を払い、マニュアルに基づき各保育室に温度計、湿度計を設置し、3時間おきに記録をとっている。おもちゃの消毒は週1回実施し、砂場は掘り返して日光による消毒を行っている。テラス等園舎や設備の改善案や保育室内外の危険箇所の発見・修理</p>

		<p>を行っている。</p> <p>救急事態発生時への体制として、3年前に全職員が救急救命士による研修を受講し、以後、2~3名ずつ受講し、職員会議、研修会で研修報告を行って職員の周知をはかっている。</p>
4	地域との交流・連携	<p>地域の子育て家庭との交流をはかるため「親子で一緒に遊ぼう会(年2回))を実施、こぼとまつりなどの世代間交流会を年3回実施している。園庭はいつでも開放し、地域の子育て家庭が気軽に園を利用できるようにしている。</p> <p>社会福祉協議会と連携して、地域の中学校の体験学習に協力している。</p>
5	運営上の透明性の確保と継続性	<p>職員会議で意見を出し合いながら、保育ガイドラインに沿って、保育内容の自己評価を毎月実施している。</p> <p>ホームページを設置し、情報開示や情報提供を行っている。保育参観や保育参加は常に受け入れている。</p>
6	職員の資質向上促進	<p>職員倫理規程を玄関に掲示し、職員会議や研修会で職員の基本姿勢について共有化をはかっている。</p> <p>外部研修の研修成果の共有のため、外部研修に参加した職員は職員会議の中で報告を行っている。研修報告書はいつでも職員が閲覧することができるようにファイルしている。</p>

2 評価項目に基づく評価の結果

大項目1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行なった結果です

大項目1全体(調査確認事項全81事項)を通してのサービスの達成状況	97%
-----------------------------------	-----

大項目1の内容(概要)

1	人権の尊重	<p>子どもや保護者に対する態度や言葉遣い</p> <p>出生や国籍、性差などによる差別の禁止</p> <p>子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携</p>
2	プライバシー確保	<p>プライバシー確保への配慮</p> <p>個人情報保護の体制整備</p>
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	<p>家庭との連絡、情報交換の体制</p> <p>家庭の意向・希望の把握</p>
4	苦情解決システム	<p>苦情解決の体制整備</p>
5	環境整備	<p>温度や湿度等の管理</p> <p>洗剤等の危険物の管理</p> <p>おもちゃ、遊具等の管理</p>
6	健康管理(感染症対策・救急救命を含む)	<p>体調不良児、けがへの対応</p> <p>感染症への対応</p> <p>救急事態発生時の医療機関・家族等との連携</p>
7	危機管理(防災・防犯)	<p>火災や震災等の対応</p> <p>日常の防災・防犯体制の整備</p>
8	地域の子育て支援	<p>地域内の子育てニーズの把握と支援</p>
9	自己評価と情報開示	<p>自己点検・改善活動の実施</p> <p>地域への情報提供、情報開示</p> <p>見学や保育参観の機会の設定</p>
10	職員研修	<p>職員研修の実施</p> <p>実習生の受入れ、指導</p>

大項目 2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行なった結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士とのかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>児童票により、家庭状況、生育歴、健康に関する事項等を把握し、それと年齢別の発達の特徴等を学習し、それに基づいた保育をする。日々の保育については連絡ノートにより、家庭との連絡を密に行っている。</p> <p>「太陽と土と人間とのふれあいの中で」をモットーとし、戸外遊び、泥んこ、水、砂等の遊びや散歩、ミニ遠足、畑作業、又毎日各クラスで行うリズム、ゲーム、わらべ唄、体育遊びなどを取り入れ、子供たちの毎日が楽しいものであるようにしたいと、実践している。</p> <p>一人ひとりと向き合い、会話やふれ合いを大切にとらえ、一人ひとりの子どもの要求を十分満たし、情緒の安定を図っている。</p>	<p>家庭状況等の把握を児童票で確認できました。研修報告書で内部研修の実施、ことばの発達障害についての研修の実施を確認できました。連絡ノートで家庭との連絡を確認できました。保育日誌でことばの発達状況の連絡を確認できました。</p> <p>戸外遊び、泥んこ、水、砂等の遊びや散歩、ミニ遠足の実施を園だより・クラスだよりで、畑作業の実施を給食指導計画で確認できました。年齢ごとのリズム体操、ゲームの実施を確認できました。</p> <p>一人ひとりの子どもの欲求を満たすことが保育のポイントに挙げられているカリキュラム月案(ひよこ組)を確認できました。抱っこをしてお話をしている場面を見学時に確認できました。</p>
<p>子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを大切にできるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>まず、個が十分に表現できるような場面を作っておく。例えば、物の取り合い等、危険、ケガの無い所で見守り、ある程度やらせる。その上で「これは ちゃんが使っていたから、後で貸してもらおうねー」言葉かけをし、後での約束は果たしてあげる。</p> <p>たくさんの友達と関わることにより、仲間の中の自分を感じることが出来るごっこ遊びや、ゲーム、鬼ごっこなど、多くの遊びを生活を通して、友達がいるから楽しいんだという気持ちや、ルールのある遊びやケンカ等によって、相手と自分の存在の認識や仲間を大切に思う心が育つと思う。</p> <p>異年齢の友達との遊びや、大きい子が小さい子のお手伝いをする時間等を多くもつことによって、大きい子から小さい子へのやさしさが発揮されるし、小さい子からは大きい子への模倣がなされたり、やさしくされることによって大きい子への嬉しい、気持ちいいなど快い気持ちが芽生えていて、お互い、いい関係が育っていると思う。</p>	<p>子どもがものの取り合い、けんかをしたことが保育日誌に記載されていることを確認できました。</p> <p>年齢に応じたごっこ遊びやルールのある遊びの取り入れをカリキュラム月案で確認できました。</p> <p>異年齢保育を実施し、年長のお当番の子どもが小さい子のクラスに行ってお手伝いをしていることを保育日誌で確認できました。</p>

<p>子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>異年齢児との関わりの中で、面倒を見たり、いたわったり、手伝ってあげたりすることで相手がよろこび、それを自分の喜びとする。 行事(母の日、父の日、敬老の日、七夕、お誕生会等)又、地域の親子を招待しての親子で一緒に遊ぼう会、敬老、お月見集会、夏まつり等の行事を通じて、人と関わることの楽しさを味わう。 散歩などで地域の人々に会ったら、元気に挨拶が出来るよう保育士が率先してやっていく。挨拶するのは気持ちいいと感じられるようにする。</p>	<p>年長と年中と一緒に担当番をしていることを保育日誌で確認できました。担当番表を確認できました。 年間行事予定・こぼとまつり・遊ぼう会のパンフで各行事の実施を確認できました。 保育士が挨拶を心がけることを記載したカリキュラム月案を確認できました。散歩で「おはようございます」と挨拶をしたことを確認できました。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>1対1の関係を充実させている。特に小さい子の場合は抱っこやスキンシップ、歌などで保育士側が意図的に話しかけている。 絵本、カード、ゲーム、わらべ唄、手遊び、紙芝居、人形劇、ペープサート、パネルシアター、劇遊び等豊富に行っている。 子どもが話しかけてきたとき、全部受け止めてあげることで、もっと話したい気持ちを高めていく。</p>	<p>抱っこをしてお話している場面を見学時に確認できました。 絵本、カード、ゲーム、わらべ唄、手遊び、紙芝居、人形劇、ペープサート、パネルシアター、劇遊び等の実施を事業報告書や園だよりで確認できました。見学時に紙芝居の実施を確認できました 子どもへの声かけ、かかわりを多くし、成長を促していることを保育日誌で確認できました。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>毎日の生活の中に、紙芝居、絵本、お話などをする機会を多く持ったり、大きくなるにつれ、休みの日の出来事を発表するなどの時間をもつ。 行事や当番活動、運動会の種目など、クラスで話し合っ自分たちで何をするか決めている。その時、自分の意見を伝えたり、相手の思いを聞いたり出来るようにしている。 保育士が一人ひとりに話しかけたり、子どもの話を聞いてあげ、共鳴し又共感をしたりする。</p>	<p>5歳児「発見したことを伝え合う」という計画を保育日誌で確認できました。 当番活動や運動会の種目決めなど、子ども同士での話し合いを保育日誌で確認できました。 「動植物の世話を通しての発見に対し、共感する」計画を確認できました。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>歌やリズム、ゲーム、わらべ唄、体操など身体を使って表現する事を楽しむ。 クレヨン、マジック、折り紙、画用紙等素材を常に用意し、描きたい時にたくさん描くようにしている。 運動会、誕生会、卒園式のアトラクション等、他のクラスや保護者の方々に見てもらおう。</p>	<p>スキップ・ギャロップ・トンボ・ザリガニなどのリズム表現の実施を保育日誌で確認できました。 クレヨン、マジック、折り紙、画用紙等素材の用意を確認できました。 父の日の作品製作の計画を確認できました。運動会、誕生会などの実施を事業報告書で確認できました。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなで一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>色々なリズム、歌、ゲーム、わらべ唄をみんなできり、自分の姿を見てもらったり、友達の表現を見たりする。 子どもが自由に素材や用具など、自分で取り出して遊べるようにしている。 夏まつりのおみこし作り、こどもの日の鯉のぼり作り、室内装飾、お店やごっこの製作品など、みんなで話し合っ作り上げていく。</p>	<p>保育日誌で「リズム体操を楽しんだ」「音楽に合わせて身体を動かす」の記録を確認できました。 保育日誌で「いつでも描いたり、作ったりできるように素材を使いやすい場所に置く」という記録を確認できました。マジックペンなどが子どもが取れる位置においてあることを確認できました。 保育日誌で「おみこし作りをする」の記録を確認できました。各教室に子どもたちの製作物が貼られていることを確認できました。</p>

<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>毎日行うリズム、劇ごっこ、ゲーム、わらべ唄等の中で手足の発達を促したり、いろいろな動きを見て覚えたり、身体を動かす楽しさや、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 いつも同じ保育士が接するのではなく、講師によるジャギーリズム・体育遊び・お話し会・人形劇などを行っている。 制作では、身近な物(牛乳パック、ペットボトル、ダンボール、飲み物の容器など)を使い、子ども達が想像力をふくらませて作れるようにしている。</p>	<p>保育日誌で「リズム遊びをした」曲を聴き体全体で表現する」「午睡後に曲を流し曲になれる」等の記録を確認できました。 保育日誌で読み聞かせ、ジャギーリズム、体育遊び(月2回)の記録を確認できました。 保育日誌で「父の日プレゼントづくり」「カレンダーづくり」などの記録を確認できました。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>子どもが発見したもの「だよ」と言って来た事総てに耳を傾け、「だね」と言葉を返し、共感関係を広げていく中で満たされ、次の意欲へと誘うようにしている。 散歩になるべく多く出掛け、実体験をする機会を多く取り入れている。 鉢で、朝顔、チューリップ、ひまわりなどの植物を育て、自分の植えたものに愛着を持ち、水遣りや成長を楽しんだり、飼っているアヒルをみたり、散歩中にザリガニ、カエル、バッタ、カマキリなど取ってきたのを観察したりしている。</p>	<p>保育士が子どもの発見に共感したり、じっくり話をきくなどの配慮をすることがカリキュラム月案に掲げられていることを確認できました。保育日誌で「子どもについて話をした」の記録を確認できました。 クラスごとに散歩に出かけていることを確認できました。 保育日誌で「ひまわりの苗を植えた」「野菜の収穫をした」「ぶどう狩りに参加した」など様々な体験の記録を確認できました。見学時にザリガニを入れる飼育箱(見学時は何も入っていない)子どもたちがアヒルを見て楽しんでいることを確認できました。</p>
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>食事に関しては、「楽しく食べる」という事を心がけている。1つ1つ食材に対して「おいしいね」等の声かけを沢山行い、楽しみながら食べることによって、自分からすすんで食べたいと思えるようにすすめている。 個人差や食欲に応じた量の加減をする。大きい子は自分で盛り付ける。又、食事スタイルをいろいろ工夫し、楽しく食べられるようにしている。例えば、テラスで食べる、戸外にブルーシートを敷いて食べる、散歩に行ったところで食べる、自分たちでクッキングしたものを食べる等。 排泄は、無理強いをせず、便器とは、トイレとは、どんな所かどんな風にするかを伝え、不安な気持ちを取り除き、オシッコが出た時には思いっきりほめてあげる。失敗しても、「次は教えてね」等暖かい言葉がけをする。</p>	<p>保育日誌で「おいしいね、これだよ。」と声かけした記録を確認できました。見学時に食事が進まない子に「もう食べないの？これだけ食べよう」と声かけをしていたことを確認できました。 保育日誌で「テラスで食事をした」「お泊り保育でお米を研ぐ、野菜を切る。食が進み苦手な物も食べていた」という記録を確認できました。見学時に子どもが自分で食事のお代わりを盛り付けたり、食事が終わると食器を片付けたりしていることを確認できました。 カリキュラム月案やクラス便りや排泄の援助を確認できました。保育日誌で「『イヤ』という子にちょっとした会話から便器に座った」記録を確認できました。</p>

<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>月齢にもよるが、1番簡単でやりやすい物からスタートする。パンツ、ズボンの着脱、自分でやってみようとする気持ちが芽生えたら「ちゃん、すごいね」とほめ、自分で出来ない部分は、一寸手を貸してあげ、出来た時は「やったね、できたねー」とほめてあげ、自信につなげていく。</p> <p>体の仕組みや、体と食べ物のことを絵本や紙芝居を使って、わかりやすく説明したり、食べること、寝ること、遊ぶこと、排泄することの大切さを話し、関心を持たせている。</p> <p>自主的に生活を出来るようにしていく為に「ごはんを食べたら××しようね」「お昼寝したら××しようね」など、行動の見通しを持たせてあげるようにしている。</p>	<p>保育日誌で「パンツをはかない子に対して自分ではくよう促したことではいた」記録を確認できました。クラス便りで自分からパンツをはくのを見守っていることを確認できました。見学时に年中・年長組がパジャマを風呂敷から出して着替え、着ていた洋服をたたんで風呂敷に包んでいるのを確認できました。</p> <p>保育日誌で「歯磨きの大切さを話す」「歯磨きの紙芝居をした」ことを確認できました。</p> <p>子どもが主体的に行動できるよう、また見通しを持って行動できるよう援助することについてカリキュラム月案(5才児)で確認できました。</p>
---	---	---

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行なった結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください。</p>	<p>太陽と土と人間とのふれ合いの中でをモットーとし、戸外遊び、土、砂、水、草、花、虫などの自然にふれ、この中で五感をみがき感性を育てている。</p> <p>自然に恵まれていること、少人数であることの好条件を生かし、一人ひとりの子ども達と十分に向かい合い、子ども達にとっての毎日が楽しいものである様に保育内容を考えている。(例、紙芝居散歩、お絵かき散歩、お話し会、わらべ唄の会、体育遊び、クッキング、お誕生会、等)</p> <p>同年齢の友達や異年齢の友達等、様々な友達と関わることによって、友達に優しくすること、小さい子へのいたわりの心を育む、仲間と作り出す喜びを感じ合ったりする等、仲間とのふれ合いを大切にしている。</p>	<p>保育日誌で戸外遊び、表現・製作などの取り組みを確認できました。園庭に泥んこ遊びができる砂場・道具類・足洗い場があることを確認できました。</p> <p>保育日誌、行事予定で紙芝居散歩、お絵かき散歩、お話し会、わらべ唄の会、体育遊び、クッキング、お誕生会の実施を確認できました。</p> <p>仲間意識や年長の自覚をもつよう年長・年中のグループ作りをしていることをクラス便りで確認できました。保育日誌で、「お当番の子どもが小さい子のパンツをはかせた」ことを確認できました。</p>

<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください。</p>	<p>乳児保育；子どもの月齢、健康状態、生活リズムや情緒の安定などに配慮した保育を行う、又保護者との連絡を密にし、協力し合って子どもが安定した生活が図れるようにしている。(例：授乳、睡眠、排泄、あやしかけ、離乳食等)</p> <p>長時間保育；夕方のお迎えが遅いことを考慮し、三時のおやつを軽食に作り変えて食べ、又夕方6時40分にはクラッカーやビスケット等のおやつを食べている。延長保育で部屋を移動する時は、子どもの状況について職員間の引継ぎをきちんとしている。夕方は疲れているので、落ち着いて過ごせるように30分間紙芝居をしている。</p> <p>外国籍園児；言葉の不自由さがあるので、保護者にいろいろな手段で1日の様子を知らせたり、孤独感にならない様配慮している。子どもに対しては、日本語の習得に向け名称を教えたり、感情を日本語にして教えたりしている。又、言葉が伝わらないが故のトラブルもあるので、仲介したり十分に配慮している。</p>	<p>乳児保育での配慮事項について、カリキュラム月案で確認できました。</p> <p>午後のおやつが軽食になっていることを献立表で確認できました。出席簿に長時間保育に移行時の申し送り(体調など)の記録を確認できました。</p> <p>外国籍の子どものローマ字による連絡帳を確認できました。外国籍の子どもが友達の名前を日本語で呼んでいることを見学时に確認できました。</p>
<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関しての特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください。</p>	<p>アレルギー；保護者から十分な聞き取り、及び医師からの食事指示書に従い、除去食を行い、主・副食は、それに代わる物で栄養を取れるようにしている。又、アトピーの子どもには、家庭からの依頼により保湿クリームを塗っている。</p> <p>乳児保育；離乳食については家庭と連携を取り合いながら一人ひとりの子どもの状況に配慮して行っている。</p> <p>病後時保育；病後は1日数回検温したり、室内でゆったり過ごしたりする。薬が必要な場合は、医師からの薬の内容説明書を提出してもらい、及び1回分を量ったものを持って来てもらい、連絡ノートに何の薬で、いつ飲ませるかを記入の上預かり、飲ませている。</p>	<p>服薬や除去食などアレルギーのある子どもへの対応について、くすりの取り扱い、入園のしおりで確認できました(現在、アレルギーをもつ園児はいない)。</p> <p>離乳食等の状況について、カリキュラム月案、給食指導計画で確認できました。</p> <p>健康管理、与薬の対応について「薬の取り扱い」「服薬のお願い」「連絡帳」で確認できました。</p>
<p>食に関しての特徴的な取り組みについて説明してください。</p>	<p>市が作成した献立を使用しているが、油、砂糖、塩分等の調味料の調整(薄味に)や、午前のおやつは果物を主とし、午後のおやつは手作りの軽食としている。</p> <p>旬の野菜や無農薬の七分つき米、黒米を使い、調味料(醤油、塩等)は薄味に心がけている。</p> <p>クッキングを行い、全員一緒に給食作りをしたり、クラス毎に作ったりしている。又、保育所の畑で自分たちで育てた食材を調理に使うことによって、嫌いな物でも食べられるようになっていたりしている。</p>	<p>3時のおやつは園独自で軽食を作り提供していることを確認できました。廊下に本日の食事サンプルを置いていることを確認できました。</p> <p>食事は全体的に薄味であり、七分つき米を使用していることを確認できました。</p> <p>給食指導計画でクッキングの計画及び連絡帳で「カレーライスを作った」ことを確認できました。</p>

<p>家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください。</p>	<p>連絡ノート；家庭と保育所での様子や健康状態を相互に連絡し合っている。又、送迎時には、朝は子どもの健康状態を聞き、お迎えの時には、保育所での一日の様子を伝えている。</p> <p>園だよりの発行；行事や保育所全体の事項、クラスごとのおたより等掲載し、保育所側からの連絡をしている。クラスごとのおたよりは、自分の子どものこと以外にも友達との関わりや他のクラスのことも分かる様にしている。</p> <p>懇談会や面接；クラスでの1年間の取り組みや保護者からの子育てに対する希望や意見などいろいろ話し合い、年度末には1年間の保育を振り返り、お互い大きくなったことを喜び合う。面談は、必要に応じ両親と担任、施設長、副園長を交えて行っている。</p>	<p>子どもの健康状態、一日の様子などを知らせている連絡ノートの実物を確認できました。</p> <p>園の便り、子どもの様子を記載しているクラスごとのお便り、行事計画を確認できました。</p> <p>事業報告書で懇談会、個別面談の実施を確認できました。</p>
<p>地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください。</p>	<p>育児相談を随時行っている。</p> <p>親子で一緒に遊ぼう会や、敬老お月見集会では、地域の子供たちを招いて、親子で一緒に遊んだり、こぼとの子ども達と一緒に遊び、その後給食と一緒に食べてこぼとの給食の試食もしてもらっている。夏まつりやこぼとまつりには、地域の大勢の方々に来てもらい、盆踊り、ゲーム、模擬店などの催し物を通じて、地域の方々とのふれ合いを行っている。</p> <p>園庭を開放し、いつでも遊びに来て、こぼとの子供たちと一緒に遊ぶ機会を設けている。</p>	<p>業務日誌で入所希望相談・一時保育相談の実施を確認できました。</p> <p>遊ぼう会・お月見会の案内書類を確認できました。保育日誌で夏祭り・こぼと祭りの実施を確認できました。</p> <p>園庭の開放について保育所規則で規定していることを確認できました。見学時に地域の親子が遊びに来ていることを確認できました。</p>